



平成23年10月19日

各位

上場会社名 フジ住宅株式会社  
 代表者 代表取締役社長 宮脇 宣綱  
 (コード番号 8860)  
 問合せ先責任者 取締役経理部長 石本 賢一  
 (TEL 072-437-4071)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月6日に公表しました平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,766	1,538	1,473	854	24.16
今回修正予想(B)	35,600	2,700	2,700	1,570	44.41
増減額(B-A)	6,834	1,162	1,227	716	
増減率(%)	23.8	75.6	83.3	83.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	27,308	1,344	1,369	671	21.00

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,940	1,341	778	22.01
今回修正予想(B)	31,800	2,500	1,470	41.58
増減額(B-A)	6,860	1,159	692	
増減率(%)	27.5	86.4	88.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	23,763	1,278	614	19.21

#### 修正の理由

##### 1. 連結業績予想の修正の理由

自由設計住宅・建売住宅の引渡し(売上)の前倒し及び中古住宅「快造くん」の販売好調による引渡戸数の増加等により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益の大幅な増加が見込まれます。

当第2四半期累計期間については、当初、東日本大震災の影響により戸建住宅の設備機器・資材の一部の調達が一時的に難航することが予想されたため、住宅の竣工・引渡しが通常よりも遅れることを前提として計画していましたが、実際には、短期の納入遅延発生に止まり影響は軽微でした。この結果、引渡戸数が期初予想を大きく上回りました。また、中古住宅『快造くん』は、平成23年4月の「フジホームバンク西宮店」の開設による営業地域拡大の効果が早期に実現したことで、期初予想を大きく上回る業績となりました。

当第2四半期累計期間の業績予想修正理由の主要因が戸建住宅の引渡しの前倒しによるもので、通期では戸建住宅の引渡戸数に変更がないこと、先行きが不透明なことから、通期の連結業績予想は変更いたしません。

##### 2. 個別業績予想の修正の理由

主として「1. 連結業績予想の修正の理由」と同様の理由によります。

なお、今後の見通しにつきましては引続き検討を行い、通期の業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(注)上記の業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上